

ばんけい

教育ほんといゅーず
かわら版こ みち
教育の小径No.195
2025 January
1月号

(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生



今月のことば

しん
初心
わす
忘るべからず

物事を始めるときに抱いた謙虚で真剣な気持ちや意気込みを忘れずに、事に当たらなければならないということです。

改めて体験学習の意義を問う

- 特に小学生期は、成長するための発達課題として「体験」が重要な意義をもっています。成長・発達の基本は「なすことによって学ぶ」ことです。
- 自然体験や社会体験、文化的体験をとおして、子どもたちはさまざまな事象や人々と関わりながら、人々の知恵や自然界の摂理を学びます。

今月の
記念日 1月11日
鏡開き

お正月の間に年神様が宿っていた鏡餅を手や木槌などで割って食べ、1年の無病息災を願う行事です。割ることを開くといいます。

いま、なぜ体験学習なのか

長期にわたるコロナ禍にあって、子どもたちは制約された環境のなかでの生活を強いられました。人との関わりが制約され、施設の見学や修学旅行など校外学習も制限されました。また、一人一台の端末の導入により、教科の学びのスタイルも大きく変わり、一人一人がパソコンに向かって個別に学習する機会が増えました。

小学生期の発達課題として従来から指摘されてきたことに、「体験」の大切さがあります。子どもの成長にとってなぜ体験が重要なのでしょうか。

わかるとか理解するといった認識の過程を問題にした人にペスタロッチがいます。ペスタロッチは認識の過程を「直観→思考→実践」の3段階で押さえました。直観とは、物事や事象を感覚的に捉えることです。これは体験や感覚をとおして学ぶ段階です。

次の思考とは、体で感じたことや知ったことを「なぜそうなのか」「どうなっているのだろうか」と疑問や問題意識をもって、科学的、合理的に物事を捉えなおし理解することです。

そして、実践とは、知性的、理性的に捉えたものを自分の実生活のなかに取り入れ、生活をよりよい方向に改善

していこうとすることです。

この原則に立ったとき、直観するレベルの体験が不足していると、いきなり思考のレベルから学習がスタートすることになります。例えば火を使って煮炊きしたことのない子どもは、理科の教科書に熱や熱さのことが記載されていても言葉として学ぶだけで、実感を伴った理解になりません。教師はつい教え込みになり、子どもたちは知識を丸暗記せざるをえなくなります。

すでに豊かな体験や経験をしていれば、子どもたちはそこで実感したことや学んだことと結びつけて、教科書などの内容をより納得して理解します。新たな疑問をもつこともできます。

「百聞は一見にしかず」という諺があります。これは、人の話を何回も聞くより、自分の目で実際に見ることが確実だという趣旨です。さらに「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、行ったことは理解する」といわれます。これは行うこと、すなわち体験することの大切さを強調しているものです。

今日子どもたちの学習が座学中心になっている状況がみられます。ICTや映像機器の発達によりバーチャルな見方や理解の仕方をしがちです。こうした状況下において、自然体験や社会体験、文化的な体験のもつ価値や意義を改めて確認したいものです。

体験学習で何を学ぶか

「体験学習を！」と要請されると、特別活動の時間を連想します。学校行事や児童会活動、クラブ活動などの場で取り組むことはとても重要ですが、それと合わせて、道徳科を含めた教科の指導においてもさまざまな体験的な活動を組み入れるようにします。

全教育活動において体験学習を重視することにより、次のような事項を学ぶことができます。

まず、さまざまな「関わり」を学ぶことができます。関わりの対象は身の回りの社会的、自然的、文化的な事象や施設です。地域の人々と関わり触れ合うこともできます。体験学習をとおして、地域のさまざまな人々や事象などに対する理解や関心が深まり、地域社会の一員としての意識や自覚が高まっていきます。

また、体験をとおして地域に生きる人々の生活の知恵や自然界の摂理、不思議などを学ぶことができます。体験は、教科書で学べないことを学べる貴重な活動であり教材です。

さらに、主体的な学ぶ態度を身につけることができます。体験は楽しいものであり、学習意欲を高めます。問題解決的な能力や態度も培われます。

休み時間・放課後の指導

授業と授業のあいだの休み時間や放課後の時間は、必ずしも教育課程に位置づいていません。しかし、これらの時間帯も子どもたちの学校生活において大切な役割があります。

休み時間や放課後の時間をどう過ごすか。子ども一人一人に任せ、自由に過ごさせることもできますが、これらの時間帯を学級集団づくりの場として意図的に活用することができます。

通常、2校時と3校時のあいだに20分ほどの休み時間が設定されています。この時間をどう過ごすかを子どもたちに考えさせます。週に1回程度を全員で遊ぶ日に決めている学級もあります。この日には教師も一緒に遊びます。また、雨や雪などで、外で遊べない日の休み時間の過ごし方を子どもたちに考えさせます。学校としてルールがある場合にはそれらを優先し、その趣旨や内容を説明します。

休み時間は、多くの場合、休憩や遊び、次の授業の準備として利用されています。これらの時間は子どもたちにとって気分が緩み、ホッとする時間です。教師の目がゆき届かなくなることもあり、事故やけがが発生したり、けんかが起こったりすることもあります。教室内外で安全に過ごす方法を子どもたちに考えさせます。

休み時間や放課後の子どもたちの行動を観察していると、教室や授業中にはみられない、意外な面があることに気づくことがあります。子どもの人間関係を把握することもでき、子ども理解を深める場になります。これらの時間に、日ごろから学習や生活などの面で気になっている子どもに声をかけ、個別に助言することもできます。

教育の動向

全国学力調査の結果

令和6年度の文部科学省が実施した全国学力調査の結果が公表されています。小学校は、例年どおり6年の国語と算数の教科で実施されました。

平均正答率を見ると、国語が67.8%、算数が63.6%でした。前年度とほぼ同様な結果でした。国語と算数における評価の観点別の正答率は、「知識・技能」が70.0%と72.9%、「思考・判断・表現」が66.2%と51.6%でした。

また、記述式の問題の正答率は国語が64.7%、算数は51.2%でした。ちなみに、中学校の国語は46.1%、数学は30.0%でした。

「思考・判断・表現」の観点の趣旨は、思考力、判断力、表現力などの能力が育まれているかどうかを評価するものとされています。調査結果から、子どもたちに課題解決に必要とされている思考力、判断力、表現力に課題があることは従来から指摘されてきましたが、いまなお解決されていません。

国立政策研究所では令和4年度に学習指導要領の実施状況調査を実施し、その結果を公表しています。それによると、「思考力、判断力、表現力等の育成」の観点から、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明することに課題があったと、同様なことを指摘しています。各学校において思考力、判断力、表現力などの能力を育てる授業研究が求められます。

国立政策研究所では令和4年度に学習指導要領の実施状況調査を実施し、その結果を公表しています。それによると、「思考力、判断力、表現力等の育成」の観点から、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明することに課題があったと、同様なことを指摘しています。各学校において思考力、判断力、表現力などの能力を育てる授業研究が求められます。

連載 先人の残した言葉 15

倉橋 惣三

自ら育つものを育たせようとする心。それが育ての心である

倉橋惣三は、わが国において幼児教育の研究家であり、実践家でもありました。アメリカのコロンビア大学に留学したころ、ジョン・デューイが同じ大学の教授でいたから、デューイの影響を受けたことが考えられます。

先の言葉は、昭和11年（1936年）に出版した著書『育ての心』の序文の冒頭の一節です。

倉橋は、親や教育者の「育ての心」とは「育つものの大きな力を信頼し敬重して、その発達の途にしたがって、発達を遂げさせようとする心。自ら育とうとする子どもをも前にして、育てずにはいられなくなる心」であると述べています。また、「育ての心は相手（子ども）を育てるだけではない。それによって自分（親や教育者）も育てられていく」とも述べています。子

どもを育てている親や教師は、実は自らも育てられているというのです。これが「育ての心」です。

日ごろ子どもたちと接していると、どうにかしてよりよく育てたい、成長させたいという衝動にかられることがあります。また、子どもを教えているつもりが、逆に子どもに教えられていることに気づくことがあります。

倉橋の主張した「育ての心」は、主に幼児教育を意識したのですが、教育や子育て全般に使えることであり、現代においても生かしたい言葉です。倉橋は同書で、「おや、この子に、こんな力が。えっ、あの子に、そんな力が」と述べ、子どもの育つ力に驚いています。一貫して、子どもに信頼を寄せ、成長を見守る教育者でした。

INFORMATION

※ご注文は文溪堂代理店まで /

北先生の新刊です!

教師のリアクションカ

「指導と評価の一体化」とは何か

「指導と評価の一体化」としての教師の適切なリアクションを具体的な事例をもとに解説!

著者 / 北 俊夫
定価 / 1,430円(税込)
発行 / 株式会社文溪堂
A5判 96ページ



「教育の小径」のすべてのバックナンバーを文溪堂ホームページからお読みいただけます。

お知り合いの先生にもお勧めください。



ぶんけい 教育の小径 検索

編集後記

コロナ禍で学校行事や体験学習が減ったことにより、「学校に行くのが楽しいと思う」児童が減少したという統計もあるようです。(2021年度全国学力・学習状況調査)学校行事や体験学習は、学習のモチベーションアップにも有効と考えるのは飛躍しすぎでしょうか? (H記)



企画・編集: ぶんけい教育研究所
発行: 株式会社文溪堂
発行日: 2025年1月1日